

## 令和4年度「救急需要対策に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

### 1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q5の「緊急性や受診の必要性をパソコンやスマートフォンから確認できる「横浜市救急受診ガイド」を知っていますか。」の質問において、「イ 知らない」と回答された方が82.1%と全体の8割以上となりました。救急車の適正利用を広報していくためにも、「横浜市救急受診ガイド」の活用について市民の方々の目に触れる機会を増やしていきます。

また、Q11やQ13の回答において、様々な場面で起こりうる事故を予防し、ケガの防止につながるような対策をご家庭や職場でされている方や、今後対策をしていきたいと回答された方が多かったことから、救急車が必要になるような病気やケガ等を、事前の注意や心がけで防ぐ取組（予防救急）に関する広報も引き続き行っていきます。

### 2 アンケートを実施した感想

Q13の「ケガの防止対策を家庭や職場で実施していない理由」について聞いた質問において、63.9%（342人）の方が「ア 対策を知らないから」と回答したことから、対策を知らない方が多いことが確認できました。

また、ケガの予防対策については、自由記載で「有効な情報なのでもっと周知した方が良い」というご意見をもったことから、あらゆる機会を通じて積極的に広報周知を行っていくことが必要だと感じました。

### 3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

いただいたご意見を参考に、「横浜市救急相談センター#7119」や「横浜市救急受診ガイド」など、市民の方々が急な病気やケガで困ったときに迅速かつ適正に対応できるよう、業務の改善につなげていきたいと思えます。

また、救急車を適正に利用していただくためにも、予防救急についても積極的に広報をしていきます。

担当：消防局救急課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。